

10月14日（火）の中学2年生の「高志学」では、福井市役所の方々をお招きし、ワークショップを開催しました。7月に実施した「問いのブラッシュアップ講習」では、「やりたいこと」「できること」「求められていること」の3つの要素が重なる部分に問いを設定することの大切さを学びました。しかし、生徒たちからは「求められていることがよく分からない」という声も上がっていました。

そのような中、福井市が今後5年間の方針を示す「第9次総合計画」を策定するにあたり、中学生の意見を聞きたいというお話をいただき、今回のワークショップが実現しました。

はじめに、こども政策課の方から「こども未来条例」や「子どもの未来が輝くまちづくり」についてご説明をいただきました。続いて、総合政策課の方からは、現在進行中の「第8次総合計画」についてお話を伺い、生徒たちは「こうしたらいい」「こうなったらいい」といった意見を付箋に書き出していました。

その後、各班で意見を整理し、優先すべき課題を3つに絞って発表しました。予算をはじめとする現実的な課題も多くありましたが、生徒たちなりに行政の在り方について真剣に考える様子が見られました。

最後に市役所の方から、「皆さんの意見が未来を変えることは十分にあります。やりたいことを『できること』にしていけるよう、しっかり問いを育てていってください」という励ましの言葉をいただきました。

生徒からは、「講師の先生方とのワークショップを通して、地元・福井が考えていることをベースに自分たちのやりたいことを考える時間となった。」

「高志学につながる発見があった。他の人のやりたいことも参考にしていきたい。」などの感想が寄せられました。

